

化学物質等安全データシート (MSDS)

作成 平成 19 年 7 月 10 日
改訂 平成 24 年 9 月 24 日

1. 化学物質等及び会社情報

製品

製品の名称 ジャンボ ニューシャインスプレー 420mL 油性
製品のコード AS100404

供給者情報

会社名	エア・ウォーター・ゾル株式会社		
住所	東京都千代田区岩本町 2-16-2 神田MCビル	(本社所在地)	
	茨城県小美玉市三箇 817-1	(研究開発室所在地)	
担当部署	研究開発室		
電話番号	03-5835-3900	(本社代表)	0299-48-4402 (研究開発室代表)
FAX番号	03-5835-3908	(本社)	0299-48-4401 (研究開発室)
緊急電話番号	0299-48-4402	(研究開発室代表)	

推奨用途及び使用上の制限：家庭用品

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響

特有の危険有害性

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性／引火性エアゾール	区分 1
引火性液体	区分 2

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入：ガス)	区分外
急性毒性(吸入：蒸気)	区分外
急性毒性(吸入：粉塵、ミスト)	区分 4
皮膚腐食性/刺激性	区分 3
眼に対する重篤な損傷性/目刺激性	区分外
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分 2
標的臓器/全身毒性(単回曝露)	区分外
標的臓器/全身毒性(反復曝露)	区分 1(神経系)
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	区分外
水生環境有害性(慢性)	区分外

※記載のないものは分類対象外または分類できない

ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報 H222 極めて可燃性／引火性の高いエアゾール
 H225 引火性の高い液体および蒸気
 H316 軽度の皮膚刺激
 H332 吸入すると有害(気体, 蒸気, 粉塵, ミスト)
 H361 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
 H372 長期または反復暴露による臓器の障害

取扱注意

[予防策]

保護手袋および保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。(P241)
 容器および受器を接地すること。(P240)
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
 加圧容器：使用後穴をあけたり燃やしたりしないこと。(P251)
 取扱後は手をよく洗うこと。(P264)
 容器を密閉しておくこと。(P233)
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。(P281)
 火災を発生しない工具を使用すること。(P242)
 熱／火花／裸火／高温のもの<のような着火源>から遠ざけること。－禁煙。(P210)
 粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入しないこと。(P260)
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。(P261)

[対応]

裸火または高温の白熱体に噴霧しないこと。(P211)
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243)
 火災の場合には、消火に炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火剤を使用すること。(P370+P378)
 吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。(P308+P313)
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)
 気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。(P314)
 皮膚(または毛)にかかった場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。

[保管]

皮膚を流水／シャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。(P332+P313)
 施錠して保管すること。(P405)
 日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しないこと。(P410+P412)
 涼しい所／換気の良い場所で保管すること。(P403+P235)

[廃棄]

内容物/容器を各都道府県の規則に従って、専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。(P501)

GHSによらない危険有害性

最重要危険有害性

物理的及び化学的 引火性液体、有害性物質

危険性

危険性

引火性、可燃性で揮発性の大きい液体である。
 引火性の強い液体であり、空気との爆発性混合ガスを形成しやすい。
 加熱や火災により分解し、有害且つ腐食性のガスを発生することがある。

特定の危険有害性

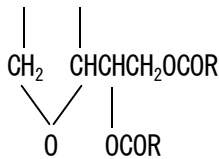
有害性 高濃度の二酸化炭素を吸入すると人体に影響を与える恐れがある。
 内容液は、蒸気を吸入したとき及び飲み込んだ場合、めまい、吐気等の症状を起こすことがある。液体を飲み込んだ場合、誤嚥により化学的肺炎を起こすことがある。
 眼、皮膚、気道に刺激性を有し、繰り返しの接触により炎症を起こす。

3. 組成・成分情報（混合物・危険有害性物質を対象）

成分名 (別名)	CAS No.	含有濃度 (質量%)	化学式又は構造式	官報告示政令番号	
				(化審法)	(安衛法)
石油系炭化水素	企業秘	10~15	特定できない	企業秘	企業秘
アルキルベンゼン(直鎖型)	67774-74-7	20~25	$C_6H_5 \cdot C_nH_{2n+1} (n=10-13)$	(3)-21	対象外
トリレイン酸リルビタン	26266-58-0	5~10	※	(8)-63	対象外
イソヘキサン $\left\{ \begin{array}{l} 2\text{-メチルペンタン} \\ 3\text{-メチルペンタン} \end{array} \right.$	107-83-5	15~20	C_6H_{14}	(2)-7	対象外
	96-14-0				
ノルマルヘキサン	110-54-3	0.7164	C_6H_{14}	(2)-6	第一種No.520
その他の成分	明記できない	1以下	対象外	対象外	対象外
液化石油ガス $\left\{ \begin{array}{l} \text{プロパン} \\ \text{i-ブタン} \\ \text{n-ブタン} \end{array} \right.$	74-98-6	10~20	C_3H_8	(2)-3	対象外
	75-28-5	5~10	C_4H_{10}	(2)-4	No.480
	106-97-8	15~20	C_4H_{10}	(2)-4	No.480

※PRTR 対象物質：ノルマルヘキサン

※ HO-CH-CH-OCOR



R:レイン酸残基

4. 応急処置

応急措置を以下に示すが、必要に応じて速やかに医師の診断を受ける。

目に入った場合 :直ちに清浄な水で15分間以上洗眼し、医師の手当てを受ける。
 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取除いて洗浄すること。

皮膚に付着した場合 :直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、多量の流水及び石鹸で十分に洗うこと。
 ガスの付着を受け、凍傷となった場合には衣服は脱がせず、そのまま多量の水または微温水で洗い流す。
 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の手当てを受けること。

吸入した場合 :直ちに新鮮な空気のところへ移動させる。
 身体を毛布などで覆い、保温して寝かせ安静を保つ。
 呼吸が止まっている場合及び呼吸が弱い場合は衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。
 意識はないが呼吸をしている場合、または意識があるが呼吸が困難な場合は酸素吸入が有効である。医師の指導の下で行うことが望ましい。
 医師の指示なしに酸素以外の投薬をしたり、被災者も口から物を与えてはならない。速やかに医師の手当てを受ける。
 嘔吐物は飲み込ませないようにする。

飲み込んだ場合 :水で口を洗浄後、安静にして直ちに専門医の手当てを受けること。
 但し、被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
 嘔吐物は飲み込ませないこと。
 揮発性液体を含んでおり、吐き出させるとかえって危険である。

医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

最も重要な兆候及び症状 : 情報なし
 応急措置をする者の保護 : 情報なし
 医師に対する : 情報なし
 特別注意事項

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂等。
 使用してはならない : 棒状の水
 消火剤
 火災時特有の危険有害性 : 火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。
 特有の消火方法 : 火元への燃焼元を断ち、消化剤を使用して消火する。
 指定の消火剤を使用すること。
 可燃性の物を周囲から素早く取り除くこと。
 作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。
 大規模火災の場合は、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。
 火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがあるので、消火活動には距離を十分に取り、高温にさらされる製品容器には水等をかけて冷却する。
 消火を行う者の保護 : 消火者は必ず適切な保護具（耐熱着衣、保護眼鏡等）を着用し、空気呼吸器等を装備する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急措置 : 曝露防止の為、作業の際には適切な保護具（保護手袋、保護マスク、保護前掛け等）を着用する。
 屋内で漏洩した場合は、窓・ドアを開けて十分に換気を行うこと。
 環境に対する注意事項及び
 除去方法 : 漏れ発生時（噴出時）には風上より処置を行うようにし、容器の漏出部は上向きにし、完全にガスを噴出させてから処置をする。
 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、風下の人を避難させ、関係者以外の立ち入りを禁止する。
 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
 衝撃・静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
 少量の場合はおが屑、ウエス、砂等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。
 大量の場合は土、砂等で周辺への流出を防ぎ、液体が下水、側溝、低地に入りこまないようにする。
 海上に流出した場合には吸収剤等に吸収させる。大量の場合には、オイルフェンスを張って拡散を防ぎ回収を行うとともに速やかに所管の海上保安部等へ連絡する。
 廃棄物は関係法規に従い処理すること。

7. 取扱い及び保管上の注意（関連法規に準拠して作業すること）

取扱い
 技術的対策 : 静電気が発生するおそれのある設備には、蓄積する静電気を除去する装置を設けること。
 取扱い場所で使用する機器及び設備は防爆型とし、静電気対策を実施する。
 使用する機器等は接地する。
 注意事項 : 換気のよい場所で取扱うこと。
 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、曝露防止の為適切な保護具を着けて作業すること。

使用時には、使用者にかからないように風の流れを背後から受けるようにすること。

火炎に向かって噴射してはならない。

温度が高くなる場所に置くと、容器が破裂する恐れがある。

取扱い後は手洗い等を十分に行う。

特別な取扱い注意事項 : 周辺で火気、スパーク、アークを発生するもの、高温物の使用を禁止する。
みだりに蒸気を発生させないこと。

取扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをする。

保管

適切な保管条件

: 幼児の手の届かない所に置くこと。

直射日光を避け、通風の良い所に保管する。

缶が錆びて内容物が漏出、又は噴出する恐れがある為、水回り等の湿気の高い所での保管は避けること。

火気、熱源から遠ざけて保管する。

ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

40℃以上になる所には置かないこと。

保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。

その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定めることに従う。

安全な容器包装材料

: 高圧ガス保安法等の法令で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

: 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれなような設備とすること。

室内での取扱いは、発生源の密閉化又は局所排気装置を設置することが望ましい。

取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確に表示しておく。

使用する設備は静電気対策を実施する。

曝露限界値

成分名	管理濃度 (安衛法)	許容濃度		
		日本産衛学会	ACGIH (TLV-TWA)	ACGIH (TLV-STEL)
石油系炭化水素	規定なし	3mg/m ³ (鉱油ミストとして)	6mg/m ³ (鉱油ミストとして)	—
アルキルベンゼン(直鎖型)	設定されていない	設定されていない	設定されていない	設定されていない
トリクレイン酸アルキル	設定されていない	設定されていない	設定されていない	設定されていない
イソヘキサン	設定されていない	設定されていない	※500ppm 1760mg/m ³	—
ノルマルヘキサン	40ppm	40ppm 140mg/m ³	50ppm	設定されていない
プロパン	設定されていない	設定されていない	設定されていない	設定されていない
i-ブタン	設定されていない	設定されていない	設定されていない	設定されていない
n-ブタン	設定されていない	500ppm	800ppm	設定されていない

※n-ヘキサン以外の異性体

保護具

必要に応じて着用する。

呼吸器の保護具

送気マスク、空気呼吸器、有機ガス用防毒マスク。

手の保護具

保護手袋(耐溶剤性)。

目の保護具

保護眼鏡、防災面。

皮膚及び身体の保護具

保護帽、保護衣、耐油性保護長靴、耐油性保護前掛等。

適切な衛生対策

作業中は飲食、喫煙をしない。

取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質, 危険性情報

	内容液	噴射剤
状態	液体	大気圧下 ガス状、圧力容器内 液状
外観	淡黄色透明	無色透明
臭い	香料臭	無臭
pH	該当しない	該当しない
融点	データなし	-187.7~-138.4℃
沸点	データなし	-42.1~-0.5℃
引火点	データなし	-104.4~-73.8℃
発火点	データなし	405~550℃
爆発範囲	データなし	1.8~9.5vol%
蒸気圧	データなし	0.40 MPa (20℃)
蒸気密度	データなし	1.895~2.538kg/m ³ (1MPa、15.6℃)
比重	0.807 (20℃)	0.543 (20℃)
溶解性	データなし	水に微溶
オクタノール/水分配係数	データなし	データなし
分解温度	データなし	データなし
その他	データなし	データなし

10. 安定性及び反応性 (製品として)

安定性 40℃以上になると破裂の恐れがある。
 常用温度で缶内圧は約 0.36MPa。
 室温で安定であるが、エアゾール製品はガスが充てんされており、低温でも引火・爆発の危険性がある。

危険有害反応可能性 空気と混合した場合、爆発性混合ガスを作り易い。

避けるべき条件 高温多湿な場所での保管及び火気の近くでの使用。
 強酸化剤と接触すると燃焼の恐れがある。

危険有害な分解生成物 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素等有毒ガスが発生する恐れがある。

11. 有害性情報 (内容液について。人についての症例、疫学的情報を含む)

石油系炭化水素として

皮膚腐食性 :なし

刺激性(皮膚・眼) :長期又は繰返し接触する場合、刺激性がある恐れあり。

感作性 :データなし

急性毒性 : (50%致死量等を含む)
 経口 ラット LD50:2g/kg 以上(推定値)
 経皮 ラビット LD50:2g/kg 以上(推定値)

亜急性毒性 :データなし

慢性毒性 :データなし

がん原性 :なし(基油)

変異原性 :データなし

(微生物、染色体異常)

生殖毒性 :データなし

催奇形性 :データなし

その他 :現在のところ有用な情報なし

アルキルベンゼンとして
ヒトへの健康影響
動物への影響

知見なし

刺激性 : (皮膚) Moderate irritant/New Zealand White rabbit
(眼) Minimal irritant/New Zealand White rabbit

感作性 : 知見なし

急性毒性 : 経口 ラット LD50:5000mg/kg 以上 (推定値)
経入 ラット 文献なし
経皮 ラット 文献なし

亜急性毒性 : 文献なし

慢性毒性 : 文献なし

がん原性 : 文献なし

変異原性 : エイムズテスト 6 菌株 陰性
(微生物、染色体異常)

生殖毒性 : 文献なし

催奇形性 : 文献なし

植物の影響 : 知見なし

トリレイン酸アルキルベンゼンとして

皮膚腐食性 : 記載すべき情報はない

皮膚刺激性 : ①ウサギ 100% 0.3g 1日1回塗布 3日後紅斑
②ヒト 50人 100% クロズドパッチ 72時間後刺激性なし

眼刺激性 : ウサギ Draize法 100% 点眼後 洗眼及び非洗眼 無刺激

感作性 : 皮膚刺激性の②のテストの7日後、同部位に同様のテスト、72時間後異常なし

急性毒性 : 経口 ラット LD50:10g/kg 以上 (推定値)

がん原性 : IARC;設定されていない、NTP;設定されていない、産衛学会;設定されていない

変異原性 : 記載すべき情報はない。
(微生物、染色体異常)

イソヘキサンとして (注:ノルマルヘキサンの情報を記載)

皮膚腐食性 : 皮膚の乾燥、脱脂効果がある為、皮膚炎を起こすことがある。

刺激性(皮膚・眼) : 皮膚 刺激作用がある。
眼 刺激性があり、結膜炎を生じることがある。

感作性 : 情報なし

急性毒性 : (50%致死量等を含む)
飲み込むと肺に吸収され、化学性肺炎の危険を伴うことがある。
中枢神経系の機能が低下することがある。高濃度の場合、意識低下を起こすことがある。

亜急性毒性 : 反復又は長期に皮膚に接触すると、皮膚炎を起こすことがある。
末梢神経系に影響を与え、多発性神経障害を生じることがある。

慢性毒性 : 情報なし

がん原性 : 情報なし

変異原性 : 情報なし
(微生物、染色体異常)

生殖毒性 : 情報なし

催奇形性 : 情報なし

その他 : 情報なし

液化石油ガス :現在のところ確定された有害性の情報はないが、簡易ガスコンロに使用されるカートリッジ容器又はガスライター容器には「液化石油ガスは燃料用等に使用するものであり、絶対吸引しないこと」とされている。

* 製品有害性 :製品としての安全性試験は行っていない。

1 2. 環境影響情報 漏洩時、廃棄等の際には注意を守ること。

アルキルベンゼンとして

生分解性 :分解性良好
 生態影響 :Carassius Autotus LAB (C₁₀-C₁₃・Bz) の飽和水溶液 (<0.001mg/L) 中で毒性認められず。
 その他 :COD 1.6=50%ThOD (LAB C₁₀-C₁₃・Bz)
 液化石油ガス :この物質に確定された環境影響情報はない。

1 3. 廃棄上の注意

廃棄をする場合には、ガスを完全に抜いた後に行う。
 :ガスを完全に抜いた後他のゴミとはっきり区別して廃棄する。
 ガスを抜く時は、火気のない通風良好な状態で実施する。
 残余廃棄物 :知事等の許可を受けた廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が処理を行っている場合には、そこに委託する。
 汚染容器・包装 :中身を使い切ってから分別廃棄する。
 容器、機械装置を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

1 4. 輸送上の注意

・「7. 取扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと
 輸送の特定の安全対策及び条件 運搬に際しては容器を 40℃以下に保ち、転倒、落下並びに損傷がないように積込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
 指定数量の 1/10 を超える場合、消防法第一類及び第六類危険物と同一車両での混載禁止。

国内規制

陸上輸送 消防法ほか法令の輸送について定めるところに従う。
 海上輸送 船舶安全法に定めるところに従う。
 航空輸送 航空法に定めるところに従う。

国際規制

国連分類 IMDG コード class 2
 国連番号 1950

1 5. 適用法令

労働安全衛生法 可燃性ガス、引火性液体、通知対象物質 (ブタン、n-ヘキサン、イソヘキサン)
 船舶安全法 高压ガス、引火性液体
 航空法 高压ガス、引火性液体
 高压ガス保安法 適用除外 (液化ガス、可燃性ガス)
 消防法 第四類第一石油類
 危険物船舶運送及び貯蔵規則 IMDG コード class 2.1 (UN No. 1950)。
 水質汚濁防止法 石油系炭化水素 (鉱油) :油分排出規制 (6mg/L 許容濃度) ノルマルヘキサン抽出分として検出される。
 海洋汚染防止法 有害液体物質 (C 類物質) (ノルマルヘキサン、イソヘキサン)
 毒物及び劇物取締法 該当しない。
 PRTR 法 第一種指定化学物質 (ノルマルヘキサン)

16. その他の情報

参考文献

原液 MSDS

液化石油ガス MSDS

化学物質管理促進法対象物質全データ

労働安全衛生法対象物質全データ

毒物及び劇物取締法対象物質全データ（化学工業日報社）

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがあるかもしれません。また新しい知見の発表や従来の説の改訂により内容に変更が生じることがあります。ここに記載された情報は情報の完全さ・正確さを保証するものではありません。全ての化学品には未知の有害性があるため、取扱いには細心の注意が必要です。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行って下さい。
